

【参考資料】

■ 渋滞対策工事の概要

草津 JCT は、E1 名神高速道路(E1 名神)とE1A 新名神との結節点として、2005 年の開通以来、名古屋～大阪間における重要な交通の要衝を担っておりました。2019 年 3 月 17 日に E1A 新名神の新四日市 JCT～亀山西 JCT 間が開通したことにより、愛知県(四日市 JCT)から滋賀県(草津 JCT)までの E1A 新名神が一本に繋がり、利便性がさらに向上し、交通量が増加しました。

その結果、E1A 新名神 草津 JCT(下り線)を先頭に、交通混雑期を中心に慢性的に渋滞が発生するようになりました。

草津 JCT(下り線)を走行する 1 日約 3 万台の交通量は、C ランプ(大阪方面)の走行が約 9 割、A ランプ(名古屋方面)の走行が約 1 割となっており、方面ごとの車線数は、C ランプ(大阪方面)、A ランプ(名古屋方面)ともに、各 1 車線で運用しておりました。

この度、方面別の交通量を考慮し、C ランプ(大阪方面)を 2 車線、A ランプ(名古屋方面)を分岐ランプとすることで、大阪方面への交通容量を増やす対策を実施いたします。この対策により、草津 JCT(下り線)における渋滞回数の減少が期待されます。

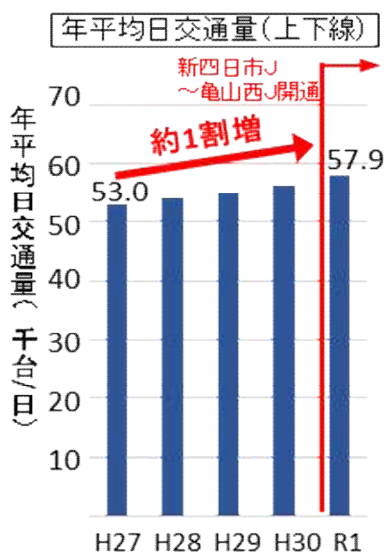
■ 草津 JCT における交通量の増加

2019 年 3 月の E1A 新名神 新四日市 JCT～亀山西 JCT 間の開通により、草津 JCT を経由して E1 名神と E1A 新名神を通過する交通量が増加し、草津田上 IC～草津 JCT の交通量は約 1 割増加しました。これにより草津 JCT 付近を先頭とする渋滞発生件数が 2019 年で 79 回と、前年の 2 倍以上となり、交通混雑期を中心に慢性的に渋滞が発生するようになりました。

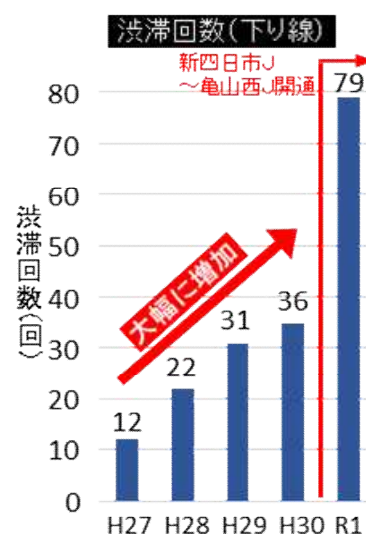


草津 JCT 下り線の渋滞発生状況

草津田上 IC～草津 JCT の日交通量



草津 JCT(下り線)の渋滞発生回数



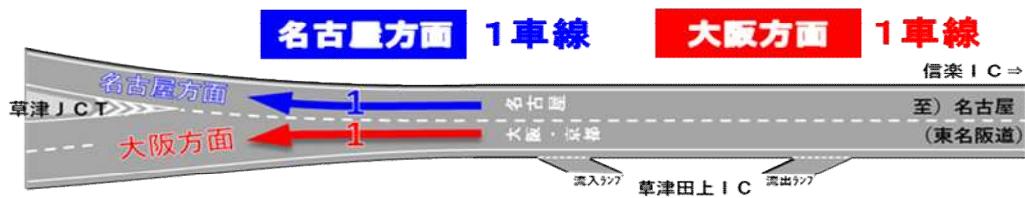
※1 km以上の渋滞を集計

■具体的な工事内容

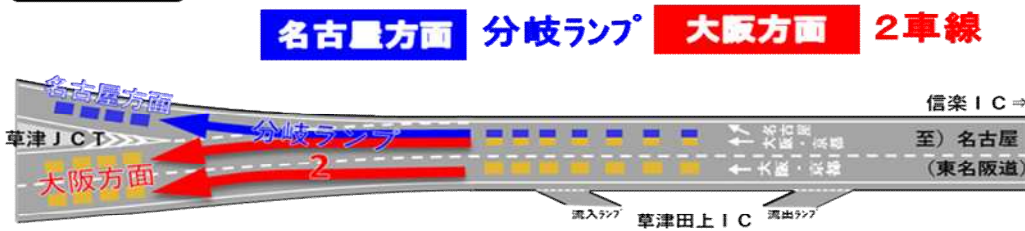
工事は、「車線運用の変更」「カラー舗装の新設」「路面標示の変更」「案内標識の変更・追加」を実施します。

◆車線運用の変更・カラー舗装の新設

**変更前**



**変更後**



◆路面標示の変更

(変更前) → (変更後)



◆案内標識の変更(カラー舗装に合わせた図形案内標識に変更)

(変更前)



(変更後)



※追加